

共同利用機関の歴史とアーカイブズ 2007

葉山高等研究センター研究プロジェクト「人間と科学」

研究課題

「大学共同利用機関の成立に関する歴史資料の蒐集と
わが国における巨大科学の成立史に関する研究」

2007年度報告

総合研究大学院大学

-
- ・ 本書は平成 20 年 2 月 8 日に東京・国際文化会館にて開催されたワークショップ「共同利用機関の歴史とアーカイブズ」の講演をまとめたものです。
 - ・ 肩書き等は当時のものを使用しております。
-

はじめに

総研大は大学共同利用機関を基盤機関として成り立っている大学であり、そこに属する研究所である葉山高等研究センターはそれら基盤機関の調査を行うのに相応しいところであると言えます。

四つの活動領域

このプロジェクト課題では、大学共同利用機関における歴史資料の保存および蒐集、あるいはそのための努力を援助・コーディネートする、もしくはオーラルヒストリーを蒐集することにより、科学史的また社会学的研究の基盤となる資料のコレクションをつくり、協力研究者の役に立つこと、もしくは総研大における大学院教育のための基盤とすることを目標としております。この研究課題には4つの活動領域があります：(1) 総研大の基盤機関におけるアーカイブズの支援およびその標準化、(2) 総研大の基盤機関を対象とするオーラルヒストリーの蒐集およびその公開、(3) 総研大基盤機関に関係する科学映像記録の作成、そして、(4) 蒐集されたに基づいた歴史的研究を実施することです。

研究課題の焦点「科学と社会」

しかし、科学的研究全般の活動を記録を行ったり、研究対象として研究をすすめることは実際にはできませんので、この課題では『科学と社会』というところに焦点を絞っております。

現在、総研大では教育において、科学と社会について重視しております。『科学と社会』教育に貢献するために、研究所における研究者、ひろい意味での科学者と社会との関係が教育の柱とされており、全学教育のためのオリジナルで先端的な教材を準備するなど、基盤を築いている段階にあります。それと同時に、プロジェクト内で『科学と社会』分野の研究者養成学位論文執筆、特にオリジナルな研究の機会やオーラルヒストリーやアーカイブ資料研究の技能の養成に関する機会を設ける努力をしております。

今年度の活動の概要

今年度の活動についてですが、詳しい成果については後に各領域より報告していただきますので、ここでは大まかな報告をさせていただきます。

オーラルヒストリー

オーラルヒストリーにつきましては、基本的な枠組み、もしくは基本設計ができあがりました。コハラセンターとの提携契約を経て、いくつかインタビューを実施することもできました。

はじめに

アーカイブズ

アーカイブズに関しては、まだ完成には少々時間がかかるようですが、EAD 化をすすめてまいりました。主な活動内容として、EAD 化のための枠組み設計、EAD 化に関する知識の共有、各アーカイブズにおける入力作業があげられます。年度末には完了する予定です。なお、EAD についての説明は、後ほど各論で詳しい説明があると思いますので、省略させていただきます。

科学映像

科学映像につきましては、前年度までに撮影された KEK および CERN の科学映像の整理と公開の仕組みの策定、および今後の科学映像のための計画を立てている段階です。

歴史研究

歴史研究に関しましては、歴史研究のための準備作業として文献購読会などを開催して勉強をしたり、研究発表を行ってまいりました。

主な会合

年度前半には月 1 回のペースでオーラルヒストリーの会合を開き、そして国文研と協力して EAD 化に関するワークショップを行ってまいりました。また、8 月には UCLA および KEK と共同して国際ワークショップを開催いたしました。

以上、全体の概要についての報告をさせていただきました。

目次

はじめに	iii
伊藤 憲二（総合研究大学院大学） プロジェクト代表より プロジェクト課題「大学共同利用機関の歴史とアーカイブズ」の 概要と活動報告	iii
第 I 部 本研究課題の成果報告	1
1. 大学共同利用機関のオーラルヒストリー	1
伊藤 憲二（総合研究大学院大学） 大学共同利用機関のオーラルヒストリー	3
2. 大学共同利用機関のアーカイブズ	13
高岩 義信（国立大学法人 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター） 大学共同利用機関のアーカイブズ - I 全体報告	15
松岡 啓介（核融合科学研究所） 核融合科学研究所（NIFS）核融合アーカイブ室の活動	31
関本 美知子（KEK 史料室） KEK 史料室の現況報告	41
木村 克美（分子科学研究所） 分子科学研究所（IMS）分子研アーカイブズの現状	53
3. 大学共同利用機関の科学映像	59
大森 康宏（立命館大学・映像学部） 大学共同利用機関の科学映像	61

第 II 部 招待講演による記念シンポジウム「研究機関の資料保存と歴史研究」	73
野口 邦男（国立天文台）	
国立天文台すばる資料室	
.....	75
柳生 修二（総合研究大学院大学・調査・監査）	
総合研究大学院大学葉山本部における大学アーカイブズの問題	
.....	87
溝口 元（立正大学・社会福祉学部）	
国立遺伝学研究所の設立前後	
.....	93
北川 源四郎（統計数理研究所）	
特別講演 統計数理研究所の歴史	
.....	115
おわりに	133
全体討論	
.....	135
平田 光司（総合研究大学院大学）	
閉会の挨拶	
.....	143
付録	145
付録 1	
19 年度の活動の概要	
.....	147
付録 2	
Excerpts the 1st and 2nd Reports on the Sokendai/Kohala Center Oral History Project	
.....	153
付録 3	
Forms for the Sokendai-Kohala Center Oral History Project（書式）	
.....	175

「大学共同利用機関の歴史とアーカイブズ」2007

総合研究大学院大学・葉山高等研究センター「人間と科学」プロジェクト
研究課題「大学共同利用機関の成立に関する歴史資料の蒐集とわが国に
おける巨大科学の成立史に関する研究」2007年度報告

総合研究大学院大学 葉山高等研究センター

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村

電話：046-858-1500 ファックス：046-858-1541

The Graduate University for Advanced Studies (Sokendai)

Hayama Center for Advanced Studies (HCAS)

Shonan International Village, Hayama, Kanagawa 240-0193 JAPAN

phone: +81-46-858-1500 fax: +81-46-858-1541

URL: <http://www.soken.ac.jp/>

発行者：伊藤憲二 (Kenji ITO)

製作：BrainWorks (<http://www.brainworksjapan.com>)

発行日：2008年3月31日

* 無断複写・転載禁止

* 本書の内容は著者・発言者個人の見解を記録するものであり、
その所属する団体の公式見解を表明するものではありません。

* All rights reserved

* ©2007 by the Graduate University for Advanced Studies